INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね！

コロナ禍で翻弄され続けた3年間。ようやくモトクロス本来の姿が東北SUGOにも戻って来ました。モトクロスが大好きなみなさんにとっては約半年ぶりの全日本。でも中には初めて観戦する方も少なからずいらっしゃると思います。

全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は間近で見れるド迫力を感じてもらえればいいと思うんです。様々なモータースポーツ競技の中で、予選レースからの横一線のスタートは、モトクロスだけだと言われています。今大会、IA1クラスはトリプルヒートと言って、スプリントの3ヒート制で行われます。つまり1番迫力あるスタートシーンが何度も見れちゃいます。

グリッドに着く順番は、土曜日に行われる予選の結果順。基本イン側が有利ですが、あまりインに集中するとラインが塞がれて、アウトからスルスル抜け出す場合もあります。1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンとゼッケンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。でもよく見るとオレンジのKTMと白のハスクバーナ、GASGASというメーカーはホンダと同じ赤い外装だったりします。

ゼッケンは白地がIA1、黒字がIA2、青がIB... なんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラーなんです。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

あれれ、黒ゼッケンIA2には02〜010のライダーがいますね。彼らは今年IAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。新入生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。スタート前の選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

それで気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ〜ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やIA昇格を果たしたルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

地元全日本ライダー 鳥谷部晃太が教える SUGOはココを見ろ!

こんにちは鳥谷部晃太です。昨シーズン限りでレース活動にピリオドを打ち、今は東京でサラリーマン生活を送っています。様々な事業を展開するネクスグループという会社に就職したんですが、しっかりとビジネスを学んで、いつか自分を育ててくれたモトクロス界の発展に貢献出来たらなと思っています。

さてここSUGOですが、開幕戦が行われたHSR九州、第2戦関東のオフロードヴィレッジとは丸で違う山の地形を活かした起伏のあるレイアウトが1番の特徴です。アップダウンが激しいと言うことは、アクセルワーク、ブレーキングのどちらもよりシビアなテクニックが要求されるので、ライダーにとっては技術の差が大きく出ることになります。雨が降ればなおさら大変。何が起きるか分からないし、スタックするようなコンディションではトップライダーでさえ苦労することになります。そこに新たなチャンスも生まれるわけで、ライダー同士の駆け引きに注目してください。それとここSUGOは間違いなく国内で最も観戦のための施設が充実した会場。どんな天候でも激しいバトルを楽しく観戦してもらえたらと思っています。

声を出しての応援 OK 声援がレースを盛り上げます

今シーズンから入場の際の検温や問診、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保のお願いなど、コロナ感染対策は全てなくなりました。

日曜日の昼休みにはルーキーライダーを紹介するステージイベントも企画されています。もちろん表彰式は両日お客さんに解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、IA2クラスのヒート2、IA1クラスのヒート3終了後にはウィニングランが行われるハズ。優勝したライダーはもちろんですが、全力を尽くして戦った全てのライダーにお疲れ様と声をかけてあげてください。手が汚れてもいいという方はハイタッチもぜひ。

とにかくレースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、メーカーチームパドックにもポスターが用意されています。

直接パドックにライダーを訪ねたり差し入れに行ったりするのもOKです。ただ、中には気にする人もいるかと思うので、ライダーやスタッフさんに話しかける時は、「マスクした方がいい？」って一言聞く気遣いはあっていいのかなって思ってます。

スタート後方、第1パドックの各社出店や展示ブースも必見です。スタートゲートやサインエリア、雨だったら特に洗車場でもメカニックさんの仕事ぶりが見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンは LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年もLINE公式アカウントを使って配信しています。シーズン中、更なるバージョンアップを予定しているんですが、料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

今回注目ライダーインタビューに登場してくれたジェイ・ウィルソン選手。下手な英語に一生懸命に答えてくれて、本当にジェントルなナイスガイ !! 会場にはいつも奥様とお嬢さんが応援に来ていて、そこでは優しいパパの一面も見せてくれます。

パドックに行けばポスターにサインを入れて記念撮影にも気軽に応じてくれます。ポスターと一緒にプレゼントしてくれるバッジは大会ごとにデザインを変えているとか。ファンを大事に思っているのはもちろんジェイ選手だけじゃありません。パドックに足を運んでぜひ推しライダーを見つけて応援してくださいね。

MXING & MC Square 木田 淑

全日本モトクロス新聞 MXING MOTOCROSSING

制作・発行／MC Square　木田　淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com

出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

渾身のスタートを決めて全日本を席巻し続ける#27ジェイ・ウィルソン。エース富田俊樹を筆頭に日本のトップライダーたちはジェイを止めようと必死だ。 Photo/K.Kida

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023 第3戦SUGO大会は、6月3〜4日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。今大会では国内最高峰IA1クラスにトリプルヒート制を採用。開幕から3戦連続となる15分+1周×3のスーパースプリントバトルがどんな結果をもたらすのか。一方で王者不在となったIA2、IB Open、LMXでは新たなヒーロー、ヒロインの誕生があるか。激戦を制するのは果たして誰だ!?

白熱のバトルで盛り上がろう!

1. トップライダー&地元選手をチェック!
2. お気に入りのライダーを一人見つける!!
3. モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4. 頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

エース対決はジェイが先行 富田&日本勢の巻き返しに期待!

国内最高峰IA1クラスの新たなエースとしてタイトル防衛に挑む**富田俊樹**（#1／ヤマハ）に対し、IA2、IA1クラスの連覇に挑む**ジェイ・ウィルソン**（#27／ヤマハ）。チャンピオン同士の直接対決に注目が集まった開幕戦は、ジェイが圧勝した一方で富田は転倒を繰り返し辛酸を舐める結果に。

続く第2戦もジェイが圧倒的なパフォーマンスを見せて席巻。富田が復調の兆しを見せた一方で、開幕戦で負傷した**渡辺祐介**（#4／ヤマハ）に続き**能塚智寛**（#2／カワサキ）、**小方誠**（#5／ホンダ）も怪我で戦列離脱を強いられた。

ジェイの快進撃がどこまで続くか。誰が彼の独走にストップをかけるのか。打倒ジェイを目標に掲げるのはもちろん富田だけではない。富田と並んで3回の表彰台リザルトをマークした**内田篤基**（#8／カワサキ）と2度2位の結果を残している**大城魁之輔**（#4／ホンダ）。6ヒート連続で4位とあと一歩で表彰台を逃してきた**大倉由揮**（#6／ホンダ）もベストリザルトの更新と巻き返しを狙って今大会に臨んでいるハズだ。

もちろん上位進出のチャンスを伺っているのは彼らだけではない。**大塚豪太**（#7／ホンダ）や**安原志**（#13／カワサキ）、ベテランの**小島庸平**（#10／ホンダ）も上位入賞を目指し超スプリントの3ヒートに挑む。

スタートの良し悪しが大きくリザルトに作用するトリプルヒート。難易度の高いSUGOだけに、新たな展開に注目が集まる。国内最高峰クラスの緊張感溢れるバトルをまずは堪能して欲しい。

IA2は世界レベルの走りに 若手がどこまで迫れるか

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**がIA1クラスにステップアップしたことで王者不在となったIA2クラス。開幕戦は予想通りの混戦となり、**西條悠人**（#8／カワサキ）、**中島漱也**（#4／ヤマハ）、新たにチャレンジしてきたスペインの若手**ヴィクトル・アロンソ**（#58／ヤマハ）が初優勝を分け合った。

しかし第2戦関東では実力で一歩勝るヴィクトルが持ち前のスピードを発揮して初のパーフェクト優勝を達成。このままヴィクトルが連勝を続けるのか、それとも日本の若手が奮起して再び混戦へと持ち込むのか、シーズン序盤は誰が勝ってもおかしくない状況が続きそうな気配だ。

ランキング3番手の**浅井亮太**（#2／ヤマハ）も西條、中島と並んで打倒ヴィクトルの急先鋒と目されるライダー。IA1で走った経験を持つ**横澤拓夢**（#5／ホンダ）、**柳瀬大河**（#3／ホンダ）や**田中淳也**（#17／ヤマハ）ら若手の奮起にも期待したい。

完全復活をアピールした 川井麻央に挑むのは誰だ!?

昨シーズンは**久保まな**（#1／ホンダ）と**川井麻央**（#2／ホンダ）が共に2勝で同点。川井の2位1回に対し2位2回で久保が初のタイトルを手にするも、シーズン終了後に久保は引退を表明。そのためこちらもエース不在のシーズンとなったレディースクラス。

注目の開幕戦では2度のタイトル経験を持つ川井がライバルを圧倒。しかし第2戦関東で川井はスタート直後に転倒を喫し、その隙に川井のチームメイトでもある**濱村いぶき**（#17／ホンダ）が全日本初表彰台初Vという快挙を達成。**箕浦未夢**（#9／ホンダ）がランキング首位に浮上した。ここにチャンピオン経験のある**本田七海**（#4／ヤマハ）、マシンをホンダにスイッチした**楠本菜月**（#5）、13歳の**川上真花**（#7／ヤマハ）、15歳の**瀬尾柚姫**（#8／ホンダ）らがどんな戦いを挑むか注目したい。

各クラスのトップ争いはもちろんだが、1ポイントを巡るバトルからも目が離せない。未来のスターライダーたちが鎬を削るジュニア、チャイルドクラスやIA昇格を目指すIB Openクラスの戦いにもぜひ注目して欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 8〜9日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月 13〜14日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月 3〜4日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月 24〜25日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 9〜10日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県／HSR九州
第8戦	関東大会	10月 28〜29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月 11〜12日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第3戦 SUGO大会 開催おめでとうございます。

HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。